

2008年6月

チーム代表者 各位

チーム監督 各位

(社)石川県サッカー協会 医事委員会

委員長 菊地 修一

サッカー活動中の給水不足による事故防止策について

拝啓

初夏の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より当協会事業に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、過日、過度な練習にもかかわらず、給水が十分に行われていないようだ、ある3種年代の関係者の方から報告がありました。

当協会としても、技術委員会や医事委員会を通じて、サッカー活動中における熱中症(熱射病など)の事故が発生しないように、未然の対策を講じるよう求めています。

特に若年層については、競技会要項に基づき、飲水タイムを設ける競技会もあり、夏場における給水の重要性は言うまでもありません。

つきましては、これから夏場の暑い時期を迎えるに当たり、別紙の参考資料【FIFA医学評価研究センター(F-MARC)サッカー医学マニュアルの抜粋】をご確認いただき、サッカー活動中における給水の重要性を指導者が十分に理解すると共に、関係者へのアドバイスも十分に考慮し、お互い重大な事故に至らないよう最良の策を取るようお願い申し上げます。

最後になりましたが、今後とも当地におけるサッカー競技の普及・発展にご理解、ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

敬具

添付資料：裏面(2.6.2水分、2.6.4選手への推奨)